



～第 65 回福島県農業賞受賞～

(農林水産大臣賞)

鈴木 光一様、里美様が

受賞報告のため市長を訪問されます



ターゲット 2.4

2024年8月27日

郡山市農林部

農業政策課

課長 佐久間 守隆

TEL：924－2208

SDGs ターゲット 2.4 「持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。

第 65 回福島県農業賞を受賞されました郡山市の 鈴木 光一様 里美様御夫妻が、受賞報告のため市長を訪問されます。

- 1 日時 令和6年9月2日(月) 午後5時00分
- 2 場所 市役所庁議室（本庁舎2階）
- 3 訪問者 鈴木 光一様、里美様 御夫妻（大槻町）
- 4 対応者 郡山市長、農林部長

〈受賞内容〉

受賞部門	第 65 回福島県農業賞 農業経営改善部門
経営内容	水稲 (5.2ha) 露地野菜 (3.5ha) 施設野菜 (10a)
経営上の特徴	鈴木光一氏、妻の里美氏、長男の智哉氏を中心として、「鈴木農場」を経営し、露地野菜を中心とした多品目多品種経営を展開している。（令和5年度には、85品目約400品種を栽培。） また、継承した「伊東種苗店」を併設し、種苗管理士（シードアドバイザー）としての野菜プロの目利きの立場で選定した『郡山ブランド野菜』を中心に「鈴木農場」直売所の他、県内外の量販店、レストラン、飲食店等の多様な販売先を確保している。 現在、畑・マルシェ・レストラン等の場を活用し、異業種と連携して、県内はもとより首都圏等の消費者に対し郡山での食・農体験活動を展開しており、今後も、「鈴木農場」と「伊東種苗店」の仕事を通し、『SEED TO DISHES』（1粒の種からレストランのお皿の料理までを見通せる農業）を実現していくことを考えている。
地域への貢献	光一氏は、福島県指導農業士として青年農業者の確保・育成に取り組むにあたり、農業の担い手育成には重要な3つのステージ（きっかけづくり・就農準備・就農後）があると捉え、それぞれのステージにあわせた支援を実践しており、市内小学校の体験授業や、高校の講義実習・職場体験、大学の研修受け入れを行い、また新規就農者の実践型研修を実施している。 農産物の安全・安心はもとより地元農業や食文化に対する理解を深めるための事業を積極的に行い東日本大震災後の郡山市の復興と発展に寄与している。

〈福島県農業賞〉

福島県では、県内の農業者で農業経営の改善や集団活動に意欲的に取り組み、優れた成績をあげている経営体や集団を表彰しています。



2024(令和6)年 郡山市は市制施行100周年!!

ひらけ 未来へ こおりやま